

開催	第59回総会 敬天究理
開催年月日	2004年7月21日（水曜日）22日（木曜日）23日（金曜日）
開催地	鹿児島市 鹿児島市民文化ホールほか
会長名	 愛甲 孝 （鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍制御学・消化器外科学）
会長講演	消化器外科学の温故創新
講演	（特別企画） 1. 消化器外科学会からの社会への提言 2. 消化器外科医と病理医との対話：病理医より学ぶ （特別シンポジウム） 1-1. 日本と世界のBest Treatment（食道癌） 1-2. 日本と世界のBest Treatment（膵臓癌） 2-1. 日本とアジアのBest Treatment（胃癌） 2-2. 日本とアジアのBest Treatment（肝臓癌） 2-3. 日本とアジアのBest Treatment（大腸癌） （緊急企画） 1. 消化器外科手術をめぐる医療安全と倫理問題 2. 本邦発信の消化器外科のホットエビデンス （招待講演） 1. Pancreatic Cancer in the United States／John L. Cameron 2. Esophageal cancer 2004-surgery and multimodal approach／A. H. Holscher 3. Complications of esophageal resection：not preventable but not fatal／John Wong 4. Prevention of Surgical Site Infection：Something Old, Something New／Donald E. Fry （教育講演） 1. 消化器専門医制度と卒後研修医制度／高崎 健 2. 臨床試験の企画, 運営に必要な生物統計の考え方がんの臨床研究を中心に一／坂本 純一 3. 臓側筋膜の統合的理解と局所分化／佐藤 達夫 4. ヒト消化器癌におけるムチンの発現と悪性度との関連性／米澤 傑
宿題報告	
シンポジウム	1. Open手術からみた食道癌に対する鏡視下手術の評価 2. Sentinel Node Conceptは胃癌治療を変えるか？ 3. 肝切除後の長期生存（10年以上）を目指して 4. 直腸癌に対する新たな治療戦略 5. 局所進行膵癌に対する新たな治療戦略 （ビデオシンポジウム） 1-1. 手術手技の標準化・私達はこうしている（standard, state of arts）：食道癌・胃癌・大腸癌 1-2. 手術手技の標準化・私達はこうしている（standard, state of arts）：肝臓癌・膵臓癌 2. 内視鏡外科手術のpitfall（消化管） 3. 血管再建を要する消化器外科手術（肝・胆・膵） （アフタヌーンビデオシンポジウム） No-cutビデオライブ
パネルディスカッション	1. 食道癌3領域郭清の見直しとその根拠 2. 進行・再発胃癌に対する新たな治療戦略 3. 重症炎症性腸疾患の病態と集学的治療 4. 成人生体肝移植の適応拡大とその問題点（特に肝癌） 5. 小膵癌に対する診断と治療 6. 術前生検から得られる情報とその臨床応用 7. 癌治療ガイドラインの検証と今後の方向性
ワークショップ	1. 消化器外科におけるclinical pathの有用性と検証 2. MRSA患者の周術期抗生剤の使用方法和治療成績 3. 消化器癌末期患者に対する緩和医療 4. 消化器疾患に対する再生医療の臨床展開 5. 消化器癌の進展と炎症 6. 消化器癌に対する免疫療法の最前線 7. 膵のIPMTの診断と手術適応 8. 消化器癌の微小転移診断と臨床展開 9. 分子生物・遺伝子研究の消化器癌補助療法への応用
シネ・ビデオ	（ビデオセッション）12題
その他	（要望演題）135題 （International Session）7題 （教育セミナー：ランチョンセミナー）28題 （一般演題：口演）446題 （一般演題：ビデオ）107題 （一般演題：ポスター）1,640題 抄録集 